

お知らせ

令和 5年 2月 9日



国土交通省中国地方整備局
山口河川国道事務所
(佐波川流域治水協議会事務局)

資料提供先

山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町クラブ

佐波川流域治水協議会から流域治水プロジェクト に関連する**第3弾の情報**を発信！

佐波川流域治水協議会では、「流域治水」の紹介やプロジェクトの最前線で働く方々からのメッセージ紹介など、様々な観点から情報発信を行っています。

【発信内容】

○第3弾では、以下の内容を発信いたします。

(リレーメッセージ) プロジェクト最前線からの報告

私の現場と流域治水プロジェクト

災害に備える拠点 それが「流域治水」につながる

～「山口市徳地地域複合型拠点施設整備事業」の取り組み～

※詳細については、別添資料をご覧ください。

【広報ツール】

○情報発信ツールは以下のとおりです。

国土交通省山口河川国道事務所 webサイト及びポスター掲示

国土交通省山口河川国道事務所@佐波川 twitter

佐波川流域治水協議会関係機関 Webサイト及びポスター掲示

流域内 イベント行事へのポスター掲示など

※今後の調整により変更となる場合があります。

【問い合わせ先】 国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副 所 長 (河川)

やまがた こういち
山形 浩一

【担 当】 河川管理課長

せんだ ゆうじ
千田 裕司

電話番号 (0835) 22-1890

【広報担当窓口】 計画課長

わた やすまさ
和田 康正

事業について詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>



ツイッターにて最新情報などを配信しています。

https://twitter.com/mlit_yamaguchi



佐波川の日々の情報をツイッターで配信しています。

https://twitter.com/mlit_sabagawa



私の現場と 流域治水プロジェクト

プロジェクト
最前線からの報告
第3弾

(佐波川の流域治水プロジェクトの最前線でがんばっている方に、仕事・取り組み内容や流域治水を進める上でみなさんへのメッセージをお聞きしていきます。(聞き手：山口河川国道事務所))

災害に備える拠点 それが

流域治水 につながる

山口市徳地地域複合型拠点施設整備事業

山口市 徳地総合支所 土木課
課長 藤田浩司さん のお話

担当者の声



藤田さん

問: 徳地地域複合型拠点施設とはどのような施設ですか？

徳地総合支所、徳地地域交流センター、徳地保健センター、徳地診療所、消防車庫、徳地文化ホールを一体化した地域拠点の中核施設です。

問: 徳地地域複合型拠点施設の特長は？

山口市内で初めて「診療所と一体化した総合支所」と言うのが最も特徴的なところ。高齢者の多い徳地地域にとって、行政窓口のサービス機能と診療所機能が集約されたことは、利活用の面で大変便利になったのではないかと思います。

問: 流域治水とどのような関係があるのですか？

佐波川水系流域治水プロジェクトでは、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策として災害復旧拠点となる徳地総合支所の建替を記載しており、防災の拠点として徳地地域の重要な拠点施設となります。

問: 防災時はどのような役割があるのですか？

防災時には、避難所としての役割と災害復旧拠点などの役割があります。避難所としては、2階の大会議室と和室の利用が可能であり、100名程度の避難者を受け入れることが出来ます。想定最大規模の洪水にも対応した避難施設となり、併設する文化ホールと併せると更に多くの避難者の受入が可能と考えています。



徳地総合支所で地域の安全安心のため、勤務する土木課の皆様

問: 新しくなった徳地地域複合型拠点施設でこれまでの総合支所と大きく変わったことは何ですか？

診療所機能が一体化したことで常に住民の方を施設内に見かけるようになりました。診療所の待ち時間を使って行政サービスの手続きを行うことが出来るようになり地域の方がより便利に利用されていると感じています。



新しく生まれ変わった徳地総合支所の外観



県内で初めての総合支所と一体化した診療所

私の現場と 流域治水プロジェクト

プロジェクト 最前線からの報告 第3弾

(メッセージ続き)

問: 徳地地域複合型拠点施設のこだわりポイントなどがありますか？

徳地地域複合型拠点施設の行政サービス窓口のカウンターの木材には地域の滑松が使用されていたり、階段や廊下などのフェンスには徳地伝統工芸品の徳地和紙が使われています。

また、多目的トイレや授乳室なども設置し誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した施設となっています。

問: 逆に見えないこだわりポイントなどがありますか？

あまり知られていないというか、細かいところなのですが、浸水が発生した際の排水対策として周辺の水路の整備を実施しています。仮に浸水が発生しても早期に復旧が図れるよう整備したもので、まさに見えないこだわりかもしれません。



滑松が使用された窓口のカウンター

問: 災害などのためにどのような機能が備えられていますか？

会議室にも災害時に活用できるようテレビ会議システム災害時優先電話などを配備しています。防災時には山口市役所とオンラインで繋いで対応を図ることを考えています。屋上には、大型の発電機が設置されており、物資が滞っても3日間は電力の供給を行う事が可能です。屋上に発電機を整備することで浸水被害が発生しても防災拠点としての機能を維持できるようになりました。

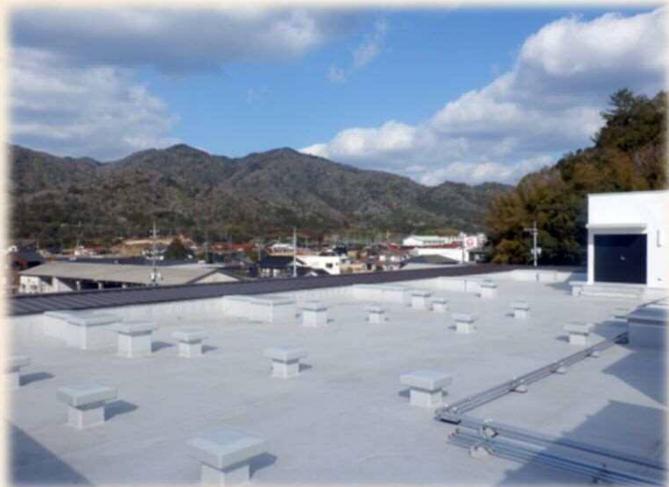
また、太陽光発電設備についても再生可能エネルギーの利用促進を図ると言うことで導入を決めました。ただ、昨今の半導体不足の影響で、残念ながら令和4年11月20日の落成式には間に合いませんでした。太陽光発電により大規模な災害が発生した際に天候次第とはなりますが、更に長期間の運用が図れることとなります。



会議室に配備されたテレビ会議システム



屋上に設置された発電機



屋上の太陽光発電パネル設置予定箇所

問: 地域の皆様へ一言、地域に対してどのような施設となってもらいたいですか？

徳地地域複合型拠点施設は、にぎわいと交流を生み出す地域拠点施設を実現させるために、公共交通機関や商業施設に近接したこの場所に施設の建設を計画し、それぞれの施設のメリットを活かし、お互いの機能向上や利用価値を高めることに配慮して整備しました。地域づくりや地域内外との交流においても中心的な拠点となり、更なる地域の活性化に寄与し、将来にわたり親しみやすく、便利で皆様の安心をささえ、皆様から愛される施設になってもらいたいと願っています。

お話しポイント

徳地地域複合型拠点施設の色々な秘密を聞いてきたよ。



もっと詳しく知ろう！



山口市徳地総合支所について

<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/map/7005.html>

発行者：佐波川流域治水協議会
(事務局：国土交通省山口河川国道事務所)



<https://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

発行：R5.2